

安心安全な 地域にする為に



西條豊致議員

◇飯山盆地の治水について

【質問】 来年度は西大滝ダムの水利権の更新の時期に当たります。ダム通過量は5500t余であり、水防上から通過水量9000tに見合う導水トンネルの建設を提案する。

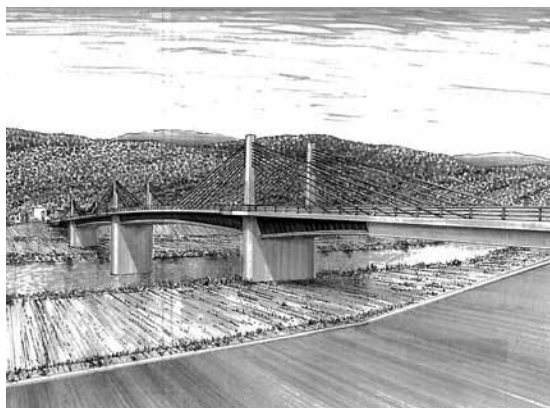
【市長】 東京電力では来年度国交省信濃川河川事務所へ更新手続きを進めると聞いている。導水路トンネルは考えていなかった案であり河川関連住民懇談会などで提案していただければと思う。

◇戸狩以北の狭窄箇所の開削について

【質問】 この箇所は洪水時流下を異常に阻害しており拡幅が必要である。また、同時に堤防強化と矢板工の継続を進めるべきと考えるが。

【市長】 治水事業で狭窄部解消を含め流下能力の向上方策など河川整備計画を立案中である。地元の意見聴取も予定されており、様々な機会を通し実効あるよう対応する。また、矢板工は増水時の現地確認を徹底し、必要に応じ国に要望していく。

【質問】 樽川の雑木処理及び浚渫を。大川の改修計画実施の予定は。



架け替え予定の中央橋イメージ図

【部長】 12月中旬に戸那子菜の花橋付近から木島古樋橋上流付近まで支障木の伐採を行う。また、大川改修は本年度予算確保ができず来年度以降の工事と聞いている。

【質問】 中央橋架け替え概要と地元説明会の早急な実施を。

【部長】 本年度1億円の予算で道路設計地質調査橋梁詳細設計をする。計画協議会からの提言を基に桁高を低くしたエクストラードスド橋になる。

認知症でも安心して 暮らせる地域づくりを



小林初子議員



家族介護者教室の様子

【質問】 厚労省研究班の推計では25年後は80歳を超えた二人に一人が認知症になる時代がくると言われている。認知症になっても地域で安心して暮らせるような相談体制や介護支援体制の拡充が必要。又、社協と行政が連携を強化して地域福祉向上の旗振り役となっていく必要があるのではないかと。

【部長】 認知症を正しく理解してもらえよう様に様々な機会を捉えて啓発を行う。家族介護者教室の開催に力を入れる。

◇がん対策の推進について

【質問】 がん検診の啓発だけでは受診率が上がらないのが現状。国民の二人に一人ががんになる今、中学生位からがん教育が必要ではないか。若い女性に増えている子宮頸がんは9月に承認された予防ワクチンと検診でほぼ100%予防できるといわれる。ワクチン接種の公費助成を検討していただきたい。

【教育長】 文科省・県教委からの指示に従ってやっていきたい。

【部長】 公費助成は慎重に検討。

◇ヒブワクチン予防に公費助成を

【質問】 ヒブ菌や肺炎球菌による細菌性髄膜炎は早期診断が困難で治療は限界があるため予防が重要。ワクチン予防接種に公費助成を。

【部長】 県内の動向等を見て検討。

◇脳脊髄液減少症について

【質問】 この病気は、交通事故や落下事故等により頭痛・めまい・倦怠感・腰痛など様々な痛みが出るもので、市民や学校での認知度が低いため悩んでいる事例が少なくない。教職員への周知はどうか。

【教育長】 職員への研修を繰り返し対応ができるようにしていきたい。

平成22年度から24年度の 3ヶ年実施計画について



沼田喜一議員

◇新幹線の立体駐車場について

【質問】 立体駐車場については、当初北信広域連合の基金を低利で運用するという話を聞いていたが、3ヶ年計画では当市独自で取り組むとなっているが、どうしてこのような状況になったのか。

【市長】 借りないでいいお金は、無理して借りることはないというのが私の理論だ。市民の皆さん、先人の皆さんからご協力を頂いた基金の運用の中で取り組みをさせていただきたい。

◇雪に強いまちづくりを推進するについて

【質問】 無散水融雪施設整備事業は、計画では急勾配の山間部で予定されているが、市街地からも要望がある。今後、市街地も含めどのような計画となっているのか。

【市長】 大変費用のかかる事業であるので、緊急的に問題のある道路について事業を計画している。新幹線・学校統合の事業が終了したら、財政面も考慮して市街地についても検討したい。



無散水融雪施設の路面の状況

◇平和学習派遣事業について

【質問】 中学生が広島市の平和祈念式典に参加する事業は評価するものであるが、全員が参加できる修学旅行を、広島方面にしたかどうか。

【教育委員長】 公立中学の修学旅行は2泊3日という大枠が県から示されており、今の交通事情では、難しい部分がある。

観光局に統合する 最大のメリットは



久保田幸治議員

◇子育て応援事業について

【質問】 市の3ヶ年事業計画に、来年までの子育て支援として2269万6000円の計画があるが、今政府では子ども手当として年額31万2000円支給するとしている。初年度22年度は半額の年15万6000円を支給するとあるが、財政難のこの時期重複する事業は立ち止まって見直してもいいと思うが国が実施しても、実施するのか。

【答弁】 市民との約束でもあるので、私の任期中は継続するのでご理解いただきたい。

◇山枯れによる防災対策について

【質問】 9月議会で問伐は「森林組合さんと相談し、できるだけ積極的に対応したい」と答えている。来年度事業計画はどの程度なのか。森林組合との情報交換等どのように進めるのか。

【答弁】 当初予算に計上し取り組んでいく。

◇観光局について

【質問】 振興公社が観光協会と統合する最大メリットとはなにか。



道の駅千曲川